

杉並区立西田小学校 令和2年度第2回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和2年6月15日(月) 16時から17時6分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長、成田職務代行(司会)
【委員】鈴木校長、恵羅、渡邊、望月、目黒、中澤、半澤、山内、檜枝(記録)
【事務局】神近副校長、濱元主幹教諭
【欠席】なし
- ・資料 資料1 令和2年度 第2回学校運営協議会次第
資料2 令和2年度西田小学校学校経営方針
資料3 令和2年度年間行事予定表
資料4 令和2年度西田小学校年間授業時間数等一覧
資料5 令和2年度サポーター大募集(学校支援本部)
資料6 学校運営協議会だより第4号

0 新任教員紹介(4名)

1 会長挨拶

- ・2か月半ぶりに東京に来た。前回Zoom会議で皆さんの元気な顔が確認できたが、本日は直接ご挨拶できた。このところ感染者が増えてきているので先行きがはまだまだ流動的で、今後の状況を注視したい。

2 校長挨拶

- ・本日は全委員参加で良かった。
- ・教育委員会から、学校運営協議会はオンラインでない会議できるように指摘があった。
- ・本日、650名の全校生徒が一斉に登校し、ようやく本来の学校になった。
- ・6月17日に1年生の保護者会を行う。例年は学校説明会で行う学校運営方針(資料2)の説明も加味する。
- ・文科省が本年4月から導入した「キャリア・パスポート」の説明は資料2に記載した。
- ・コロナ対策のために、手洗いとマスク着用を徹底指導。マスクは熱中症予防のために、人がいないところでは外しても良いと伝えている。
- ・病欠は数人で、自己都合欠席を含めても10名程度なので、生徒は自己管理ができています。
- ・ユネスコスクールについて：地域に出ていく学びとグループ活動は昨年同様にはできないので、生徒と教員の満足度を上げる工夫が必要。

3 コロナ対策について【報告】

校長から以下の報告があった。

- ・教育委員会のガイドラインに従ってコロナ対策を行っている。

- ・工作室の道具や理科室の顕微鏡などを共用する難しさを実感した。
- ・分散登校は負担が大きく疲れると実感した。
- ・一斉登校になり、児童たちも嬉しそうで、教員も元のリズムに戻りつつある。

4 行事予定・時数について【報告】

濱元先生から、行事予定表（資料 3）の説明があった。

- ・教育委員会と相談しながら、何回も改定した。
- ・教育委員会のガイドラインによれば、学年を超えた活動は 1 学期はダメなので、委員会活動とクラブ活動は行えない。
- ・移動教室に関して、6 月中に通達がある予定で、それまでは実施の可否は不明。
- ・運動会、学習発表会はどうなるか不明で、行事予定表では土曜授業と便宜的に記載している。
- ・年間の授業時間数は、3 年以上で 6 日分ほど不足。
報告事項であるが、以下の意見が出た。
- ・学年を超えた活動はダメという教育委員会のガイドラインは納得しがたい。学校ごとの独自の工夫や、学校運営協議会の熟議の結果を加味して可能性を探るべきだろう。
⇒ 校長から以下の説明があった：心配する保護者もいるので教育委員会のガイドラインの範囲でしかできない。
- ・杉並区子ども家庭部児童青少年課傘下の学童クラブは学年縦割りで活動している。教育委員会は参考にできないのか？
- ・キャリア・パスポートが児童の管理過剰にならないか危惧する。
- ・キャリア・パスポートは IT を活用しないと記録等の保存管理などの手間が大変になるだろう。
- ・キャリア・パスポートはコロナで忙殺されている現時点で導入すると、教員の負担が過大になる。

5 運動会・学習発表会について【協議】

校長から運動会について以下の説明があった。

- ・例年の参加者は、児童 650 名＋保護者がその 2 倍で 2 千人規模。今年はその規模では実施できないので、実施方法の工夫が必須。例えば、学年単位で実施、低学年と高学年を別な日に行うなど。
- ・準備の時数を減らして、授業に回したい。例えば、準備に時間がかかる踊り（表現）を簡単にするなど。
学習発表会について校長から以下の説明があった。
- ・今年は演劇の年度だが、従来の全児童参加で体育館では無理。2 月 20 日に予定されている ESD 発表会を充てることも考えている。充てる
上記に報告を受けて、以下の意見が出た。
- ・運動会と学習発表会のどちらかのみ実施する選択肢もある。保護者の希望を聞いて判断材料にすると良い。
- ・児童の声も聴くべきだ。
- ・運動会や学習発表会のように皆と一緒にするものの教育効果は高いので、工夫して実施してほしい。
- ・運動会の代わりに、個人でなくグループの記録会はどうか。
- ・保護者の立場からすると、児童が楽しみにしている運動会を開催してほしい。6 年生は最上級生として

リーダーシップを発揮する良い機会にもなる。

6 事務連絡 その他

- 分散登校が現場の教員にとってどうであったかとの質問があり、濱元先生から通常とは違う体験と同じ授業を2回する得失、通常の生徒数の半数の少人数教育の利点、給食を2回する負担などについて率直な感想が述べられた。
- 半澤委員から令和2年度サポーター大募集（学校支援本部）の説明があった（資料5）。
- 中澤委員から学校運営協議会だより第4号の紹介があった（資料6）。
- 次回協議会開催予定

7月20日（月）16時～17時30分

以上